

会 議 録

1 会議名

平成29年度 第1回阿賀野市下水道審議会

2 開催日時

平成30年2月20日（火） 午後1時30分から午後2時50分まで

3 開催場所

阿賀野市上下水道局 3階 大会議室

4 出席者の氏名（敬称略）

・出席委員： 小嶋貴子、皆川正一、泉 繁美、柄澤久作、近山 修、山賀清一、
風間輝栄、有波 修、佐藤 守、鈴木則昭、松崎大輔、
横山和也、松田昭悦、清田壽一

・欠席委員； 棚橋麻衣、小柳美保、伊藤一雄、渋谷秀富
（委員18人中 14人出席）

5 委員の紹介と任期について

6 審議事項（公開・非公開の別）

（1）阿賀野市公共下水道（安田処理区）事業計画の変更について（諮問）
（公開）

（2）その他報告等

①阿賀野市の下水道普及状況と水洗化率について（公開）

②阿賀野市公共下水道整備事業について（公開）

③受益者負担金・下水道使用料の収納状況について（公開）

④下水道事業に係る条例・規則等の改正について（公開）

7 傍聴者の数

0名

8 発言の内容

（発言は、「会長」、「委員」の名称区分とした）

【開会】

事務局

本日はお忙しい中、ご参集いただきまして大変ありがとうございます。私は上下水道局長を拝命しております「仁谷」と申します。

ただ今から、平成29年度第1回下水道審議会を開催いたします。はじめに、市長よりご挨拶を申し上げます。

【市長あいさつ】

平成29年度阿賀野市下水道審議会の開催にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

本日は年度末の大変お忙しい時期にもかかわらず、阿賀野市の下水道審議会にご出席いただきまして大変ありがとうございます。

ご承知のとおり下水道につきましては、公共用水域の水質保全あるいは、市民の皆様の住環境の改善などで非常に大きな役割をはたしております。阿賀野市では下水道普及状況は90%台となっております。市民の皆様のご理解とご協力の下、これだけすすんできたんだなあと思うところであります。

ただ一方ですすね、水洗化率はですすね。これは下水道接続率ともいうのですが、まだまだ60%台に留まっております。市民の皆さまにも下水道の整備につきましてはご理解いただいているものの、費用的なものもありまして、接続率はのびてはおりません。

しかしわれわれとしてはしっかりと住民の皆様には説明し、ご理解をいただく中で、接続につなげていきたいと思っております。

さて、本日はですすね、ご審議いただきますのは安田地区下水道についてですすね、この地区につきましては農業集落排水処理施設として3地区渡場・小松・大和地区にですすね、農業集落排水処理施設が整備されております。

ただ、人口が減少し、あるいは施設が老朽化していく中で、今後の持続可能な汚水処理施設の整備もあり方もありまして、このたびは、上位計画であります「阿賀野市汚水処理施設整備構想」の整備方針に基づきまして公共下水道へ接続をさせていただきたく、「阿賀野市公共下水道（安田処理区）事業計画」の変更を本日ご審議していただく予定にしています。

今後ともわれわれ人口が減少していく中で、阿賀野市の下水道が効率的に運営し、また先行投資のかからないような形で整備させていただければと思っております。

こういったことから計画の変更をご説明させていただきますので、よろしくご審議のほどをお願い申し上げますご挨拶にかえさせていただきます。

事務局

なお、本日はこの後所用がございまして、この場を退席させていただきますが、委員の皆様にはよろしくご審議していただきますようお願いいたします。

ありがとうございました。

今ほど市長もからございましたとおり、市長につきましては、公務の都合によりまして、ここで退席させていただきますので、よろしくお願い致します。

= 市長退席 =

委員さんが変わられております。

お手元に審議会委員の名簿をお配りしています。

ご覧いただきたいと思っております。

委員の皆様におかれましては、平成28年8月15日から2か年、委嘱をさせていただいております。

本日の会議は、委員改選後、初めてでございますので、新たに委員になられた方もおられます。

私の方から委員の皆様をご紹介させていただきます。

= 住民代表から順に紹介 =

つづきまして、審議に入る前に連絡をさせていただきます。

この審議会につきましては、阿賀野市の審議会等会議の公開に関する要綱に基づきまして、公開を原則とさせていただいております。

このため、本日の会議につきましては、録音をさせていただき、のちほど議事録を作る参考にさせていただきますので、予め御承知おきください。

また、本日傍聴の方が来ておられます。新聞社さん3社の方がおいでです。

写真の撮影を許可願いたいと申し出がございまして。

皆さんよろしければ許可したいと思いますよろしいでしょうか。

= 委員より異議なし =

それでは撮影を含めて、許可したいと思います。

つづきまして、会長、副会長の選任でございます。

阿賀野市下水道審議会条例第4条1項に委員の互選によって定めるとありますが、いかがいたしましょうか。

立候補される方があればお願いします。

なければ、事務局の方で案がありますので、紹介させてもらってよろしいでしょうか。

= 委員より異議なし =

事務局案のとおり決定。

- 会長 ただ今、会長に指名いただきました。
不慣れな点、多々あると思いますが、皆様のご協力のもとスムーズな進行を心掛けたいと思いますので、お願いいたします。
それでは、議事に入ります。
- 事務局 それでは、市長から、阿賀野市汚水処理施設構想について諮問をお願いいたします。
- 市長
- 事務局 諮問書を読み上げ、会長に手渡す。
ありがとうございました。
- 会長 ただ今、諮問を受けた訳でございますが、この、阿賀野市汚水処理施設整備構想見直しについては、下水道事業の事業運営計画として重要な計画であるため、慎重に審議していただきたいと思います。
それでは、審議事項（１）阿賀野市汚水処理施設整備構想見直しについて、事務局の説明を求めます。
- 事務局 （１）阿賀野市汚水処理整備構想の見直し
概要版にて説明。
- 会長 事務局の説明が終わりました。
何かご質問等ございませんか。
- 委員 ただ今、説明をお聞きしましたが、施設整備構想の案自体は、この方向になる感じはします。
お聞きしたいのは、なぜ阿賀野市の場合、接続率が上がらないのか、それをどの様に考えているのか、収支不足を一般会計からの繰入金でまかなっている訳ですが、単純に処理をした場合、一般会計の繰入金も入れた中で収支均衡にするには、一世帯当たりどの位のものになるのか、三つ目は、個別処理地域の現状は、調査済みなのかをお聞きしたいと思います。
- 事務局 最初の接続率に関する質問ですが、たしかに接続率は上がっていません、なぜかと申しますと、一つは、整備が遅く始まった中で、合併浄化槽の進行が進んだこと及び高額な接続費用、人口減少に伴う高齢者世帯の増加などが、接続率が上がらない原因と考えています。
また、接続人口は増えているが、それ以上に整備面積が増えている、今後、ある程度整備が完了すると、接続する人だけになり徐々に接続率も上がると考えています。
- 事務局 二つ目の質問ですが、市の繰出金がどの位かということだと思います。
２８年度予算では、公共の繰入金が約９億円、集落排水で約２億円

の繰入金を支出しています。

内容につきましては、殆どが市債の元利償還に充てております。

なぜ、市の繰出金の負担が大きいかといいますと、下水道の使用料が安いというのが一つあると思います。

1 m³当たり150円以上という国の指導もありますが、本市では、公共及び集排ともに統一した金額になっており、1 m³当たり142.2円と8円ほど150円に満たない金額となっています。

これを、国指導の150円に上げることにより、市の基準外の繰入金については、抑えられると考えます。

しかし、だいたいその位という訳に行きませんので、平成31年に企業会計への移行準備を進めており、同時に下水道の経営戦略を立て実際にどの位の資金が不足しているのか、どうすれば不足分をなくすることができるかを検証し、安易に市民から求めることを抑えていきたいと思います。

事務局 三つ目の質問ですが、個別処理地域の現状ということだと思います。

全体の対象戸数が376戸、合併浄化槽をお使いの家庭が115戸、単独浄化槽をお使いの家庭が124戸、汲取りが137戸となっております。

委員 個別の浄化槽を普及するということですが、設置に当たる補助金の額をどの位で想定しているのか。

事務局 現在もある制度ですが、5人槽を設置した場合、88万円の基準額で補助金は40%で35万2千円の助成、7人槽で110万円の基準額で44万1千円の助成、10人槽は147万円の基準で55万8千円の助成となっています。

委員 接続率についてですが、受益者負担金を5年かけ納め、接続をしたいたが早期接続の特典がなくなってしまった。そういった場合でも特典を受けれるようにしてもらいたいという意見もありましたのでお話しだけしておきます。

会長 他に何かありませんか。

委員 お疲れ様です。

市の繰入の問題に対しまして、若干お伺いいたします。

平成31年から企業会計に移行して行くという話がありましたが、合併の特例期間が終わるのがちょうどその位です。

交付税の一本化算定が31年位から始まってくると思いますが、それと同時期に企業会計に移行して行くと、問題なのは基準外の繰入ですが、31年にしっかりした計画を立ててという答弁でありましたが、利用者側から見ると31年から突然、下水道料金が上がるという解釈もできる。

国から来る交付税と阿賀野市の財政状況を見ながら早期に計画を

立て下水道料金がどうなるか、交付税の移行も見ながらしっかり考えていかなければならないと感じました。

この、構想案については、概ね理解できるが、財源の問題が気になった、言える範囲でよいので答弁をお願いします。

事務局

平成31年に突然料金値上をされては、当然困る訳ですが、国の方からは企業会計を導入することで損益計算書及び貸借対照表などの複式簿記で経営の状況についてより詳しく分かるようになる、それを見て経営戦略を立てるよう指導がありました。

私どもとしましては、当然、対応する必要がありますので、昨年10月に企業会計移行作業について委託契約を結び平成31年に移行を行い、経営戦略についても同時期に取りまとめを考えています。

当然、料金値上については、市民の皆様にご迷惑をお掛けする事項ですので、本当に必要なかどうか、値上しない方法があるのか内容を精査して皆様にご報告して行きたいと考えています。

委員

よろしくお願ひいたします。

事務局

今ほど、お話しをちょうだいいたしました。

経営戦略ということになりますと、向こう10年間でこういう仕事を具体的にやらせていただいて、これに伴う費用を算出して示さなければならぬため、今回示したものより、より具体的な形が見えてくると思います。

また、企業会計は、複式簿記になりますので、単式簿記の見えにくい部分もより見やすくなると思います。

経営戦略をまとめる時には形が見えてきます。

31年に突然、料金値上ということにはなりません、近い将来、皆様にお願ひせざるを得ないと判断しているところでございます。

委員

現在、特別会計ですのでどうしても単式簿記で見えてしまいます。

これだけを見れば、31年に大幅に上がると、ゆえに経営戦略を策定した中で、我々にお示ししていただきたいと思ひます。

よろしくお願ひいたします。

会長

他にございませぬか。

よろしゅうございませぬか。

この審議事項につきましては、阿賀野市下水道審議会条例第2条に基づきまして、審議会の意見をとりまとめ、答申書として市長に提出することとなっております。

今ほどの、事務局から提出された見直し案の内容については、概ね適当であるという結論として答申することとし、委員の意見については、付帯意見として答申書に記述して取りまとめることとしてよろしいでしょうか。

＝ 異議なし ＝

以上です。

会長

その他、何かございませんでしょうか。

ないようでしたら、以上を持ちまして、平成28年度第1回下水道審議会を、終了させていただきます。

長時間に渡りありがとうございました。

事務局

会長ありがとうございました。

委員の皆様におかれましてもお忙しい中、ご参加いただきありがとうございました。

ご審議いただいた汚水処理施設整備構想について先ほど申し上げましたスケジュールで作業させていただいて皆様にご報告させていただきたいと思います。

引き続き下水道運営にはしっかりと適正にやらせていただく所存でございます。

今後とも皆様のお力添えをいただきますことを、お願い申し上げまして閉会させていただきたいと思います。

本日は、誠にありがとうございました。

— 終了 — (午後2時50分)